

(第6条関係)

事業計画

事業名	地域連携自主防災事業
団体名	栗ヶ沢中学校地域防災委員会
事業担当課	危機管理課

取り組もうとする松戸市のテーマ (課題)	<p>(取り組もうとする課題について、その現状や背景なども含めて明確に記載して下さい。)</p> <p>松戸市地域防災計画に基づいて私たちが防災活動に取り組んだ場合、以下の課題が出てくる。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 収容避難所の運営は自主防災組織等により行われるべきとなっているが、収容避難所は複数の自主防災組織(町会・自治会)が利用する。よって学校を含めた地域の連携が必須であり、そこが課題である。2. 大規模災害の場合、自主防災組織(個人・町会・自治会)で行える救護活動は限られる。災害弱者(傷病者、要援護者、妊婦、乳幼児等)に対して、地域が連携して救護活動をどう行うかが課題である。3. 災害に備えた事前準備や、災害時の自助・近助に関する周知が徹底していないため、松戸市民の災害に対する認識が不足しているのが課題である。
事業の目的	<ol style="list-style-type: none">1. 地域の自主防災組織が連携し、自主的な避難所運営を可能にする事。2. 地域が連携して災害弱者の救護活動および支援を行えるようにする事。3. 防災に関する自助・近助の重要性の告知により住民意識を高める事。
事業内容	<p>(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を具体的に記載して下さい。)</p> <ol style="list-style-type: none">1 事業内容<ol style="list-style-type: none">1. 自主的な避難所開設と運営を目的とした、<ol style="list-style-type: none">(ア) 手引きの作成(イ) 避難所開設運営訓練2. 避難所運営のための講演および研修<ol style="list-style-type: none">(ア) 危機管理課による地域住民に対する防災に関する基本的な講演(イ) 専門家による救護活動に関する講演および研修(ウ) 専門家による避難所の衛生管理や食事等に関する講演および演習3. 自主防災に関する告知活動4. 災害弱者(傷病者、要援護者、妊婦、乳幼児等)を救護および支援するための災害弱者支援ネット(仮称)の構築<ol style="list-style-type: none">(ア) 地域の病院・診療所

- (イ) 地域の介護事業者
- (ウ) 地域の医療および福祉関係有資格者
- (エ) 栗中地域防災委員会

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	避難所開設運営小委員会の結成	各松戸市指定避難所近辺の町会によって構成
5月	栗防通信配布	地域住民に対する自主防災に関する告知活動
	災害弱者支援ネット会議	災害弱者支援ネット構築に関する話し合い
6月	講演会	防災に関する基礎的な話。対象は地域住民
9月	栗防通信配布	地域住民に対する自主防災に関する告知活動
	災害弱者支援ネット会議	災害弱者支援ネット構築に関する話し合い
11月	各収容避難所での開設運営訓練	各避難所開設運営小委員会(栗ヶ沢中学校、栗ヶ沢小学校、貝の花小学校)および近隣町会および住民
12月	講演会	災害に備えるために個人で出来る事に関する話。対象は地域住民
1月	災害弱者支援ネット会議	災害弱者支援ネット構築に関する話し合い
2月	防災に関する小冊子配布	対象は地域住民

協働の必要性

(なぜ、この事業を団体単独で取り組むよりも、市との協働で進めることが必要なのか?また、協働による取り組みが団体、行政(市)にもたらす効果を記載して下さい。)

- 松戸市としては、松戸市地域防災計画に合致する自主防災組織およびその組織の連携を實踐できる。ここで得た知見を地域防災計画、他地域に生かす事ができる。
- 栗防としては、市との協働により、我々のみの場合に比べて、地域住民に対しより大きな説得力を生むことができる。

事業実施の役割分担

(事業実施に当たり、団体と担当課でどのような役割を想定しているかを記載してください。)

- ①団体 事業内容に関する具体的な提案および準備
- ②担当課 避難所開設運営手引きにおける重要項目(応急救護および災害弱

	者救護)に関する具体的な計画策定、講演会の目的に合致した講演者の紹介、
事業の目標	<p>(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。)</p> <p>※ 事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。</p> <p>① 栗中地域の各松戸市指定収容避難所に開設と運営を行う小委員会を結成する。</p> <p>② 栗中地域の各松戸市指定収容避難所毎に開設運営の手引きを作成する。</p> <p>③ 栗中地域の各松戸市指定収容避難所にて防災訓練を行い、各参加者を100人以上集める。</p> <p>④ 自主防災に関する小冊子を作成し、栗中地域全世帯に配布する。</p> <p>⑤ 災害弱者(傷病者、要援護者、妊婦、乳幼児等)救護および支援の仕組みを地域の専門家の協力を得て構築する。</p>
今後の展望	<p>(将来の展望を記載してください。)</p> <p>防災に関する告知および訓練は継続して行っていく事が大事だと考え、将来も継続して行っていく予定。単なる防災活動だけでなく、地域活動として考えて行く。</p>

(第6条関係)

事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

(単位:円)

区分	科目	金額	積算内訳
団体	労力換算額	¥ 660,000	※別紙 労力換算計算書 参照

【収入】

区分	科目	金額	積算内訳
団体	票防拠出金	¥ 110,000	町会会費
	自己資金の合計額 (b①)	¥ 110,000	
	事業費収入合計額 (b②)	¥ 0	
	団体より拠出金 (対象外経費分) (b③)	¥ 20,000	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入等の合計額 (C)=(b①)+b②)+b③	¥ 130,000	
市	協働事業負担金 (D)	¥ 500,000	
合計額(E)=(C+D)		¥ 630,000	

【支出】

区分	科目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000	外部講師謝礼 (講演会および研修)
	印刷製本費	¥ 490,000	自主防災と避難所の手引き (5200世帯分、300,000)、講演会のチラシ・ポスター (五回分、50,000)、避難所訓練のチラシ・ポスター・資料 (50,000)、票防通信 (自主防災に関する告知、5200世帯分、三回、90,000)
	避難所開設運営訓練消耗品費	¥ 100,000	避難所4カ所分 (立て看板、受付用紙1000枚、名簿10冊、ガムテープ100巻、スズランテープ20巻、鉛筆200本、消しゴム100個、セロテープ100巻、大型模造紙20枚、ノート50冊、マジックペン20本、保険代、等)
	使用料	¥ 10,000	会場使用料 (講演会および研修)
	対象経費の合計(F)	¥ 610,000	
(その他経費)	講演会飲み物等	¥ 20,000	
	その他経費の合計額(G) = (b③)	¥ 20,000	
合計額(H)=(F+G)		¥ 630,000	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (D) が、対象となる経費 (F) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (b①) 欄が、対象経費 (F) 欄の10%以上であること。
- 3 協働事業負担金 (D) が、自己資金 (b①) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 4 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位:円)

	項 目	換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×500円
	栗防委員会 (6回)	240,000 円	40 人 × 2 h × 6 回 × 500 円
	栗防推進事務局打合せ (20回)	120,000 円	6 人 × 2 h × 20 回 × 500 円
	防災訓練 (1回、三カ所)	300,000 円	50 人 × 4 h × 3 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
			人 × h × 回 × 500 円
		人 × h × 回 × 500 円	
		人 × h × 回 × 500 円	
		人 × h × 回 × 500 円	
	合 計 (A)	660,000 円	